

基本理念：運営の支援を主とする。

目的：学校図書館の活性化を促すための運営支援

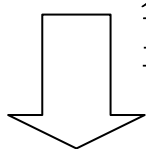
内容：①蔵書構築（選書、発注、受入、装備） ②分類、配架

③蔵書点検、除架、除籍 ④授業用資料準備、パスファインダー作成

組織：支援センターと市教委の協働

提案

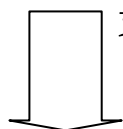
初年度…市内小中学校の学校図書館を実態調査。



全学校を訪問して聞き取り調査を行い、効果的な支援策を立てる。

- ・各学校の問題を洗い出す。
- ・学校に応じた改善案を作る。
- ・支援員 6 名（嘱託待遇、学校図書館経験者の再雇用）

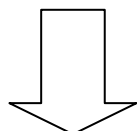
2 年目…試行段階、主として学校図書館運営未経験者の学校を支援。



支援センター設立準備。

- ・学校図書館担当者に運営ノウハウを教える。
- ・支援員を養成する。（経験者と 2 人で仕事をして回る。）

3 年目…本格運用、支援センター設立。



蔵書構築、配架、整理、廃棄、購入とデータ処理、

- ・蔵書構築、配架、整理、廃棄、・授業用資料準備等
- ・各区に 1 人、区内巡回

期待される結果

- ・学校間格差が無くなる。

※現況は学校、担当者次第で、学校図書館環境が大きな差があり、児童生徒に平等な学習環境を提供していない。

- ・教員は図書館事務から解放され、教育に専念できる。
- ・子どもの読書量が上がり、学力がアップする。
- ・情報リテラシーを身につけた良質の労働人口が増える。
- ・グローバル経済に対応できる人材が増える
- ・地域の経済効果があがり税収がアップする。→名古屋市が活気づく。